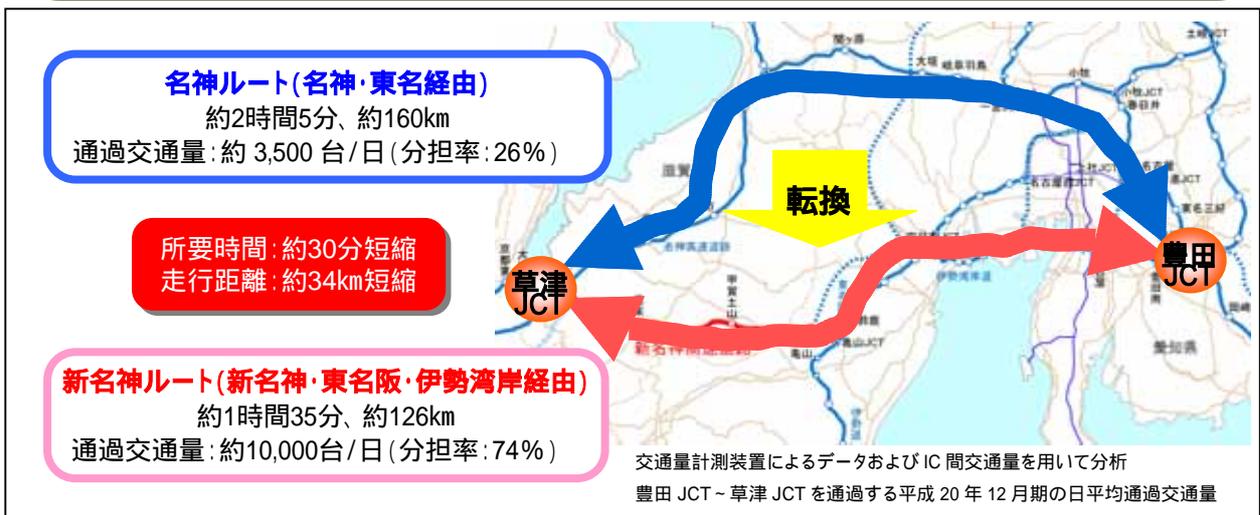


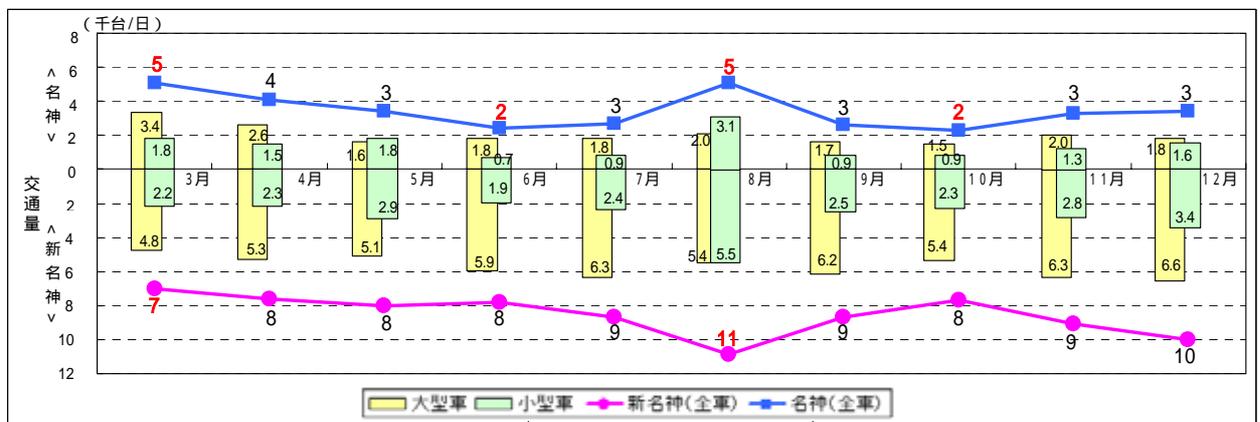
< 整備効果 >

1. 所要時間と走行距離の短縮 (豊田JCT ~ 草津JCT)

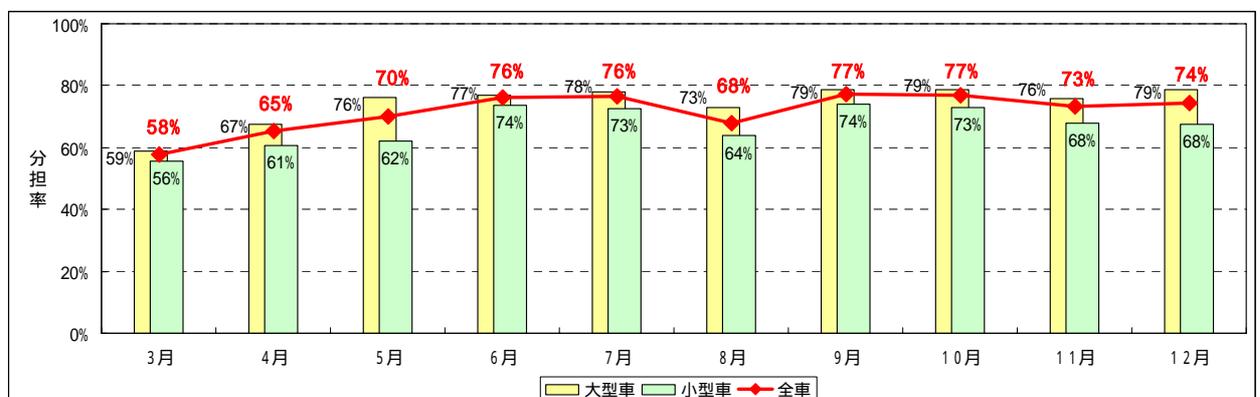
- ・新名神ルートの利用により、名神ルートに比べ所要時間が約30分、走行距離が約34km短縮しました。
- ・豊田JCT、草津JCTの2地点を通過する交通量は、名神ルートが約2,000～約5,000台/日で、新名神ルートが約7,000～約11,000台/日で推移しています。
- ・新名神ルートを利用する割合(分担率)は、開通直後の58%から徐々に増加し、繁忙期の8月を除き、6月以降概ね75%前後で推移しています。また、新名神ルート分担率は大型車より小型車の方が小さくなっています。



【新名神ルートと名神ルートの比較】



【豊田JCT～草津JCT間のルート別交通量の推移】



8月は、高速道路を通常利用されない新名神認知度の低い交通が、他の月と比べ相対的に増加することから分担率が低下するものと推察

【豊田JCT～草津JCT間の新名神ルートの分担率の推移】